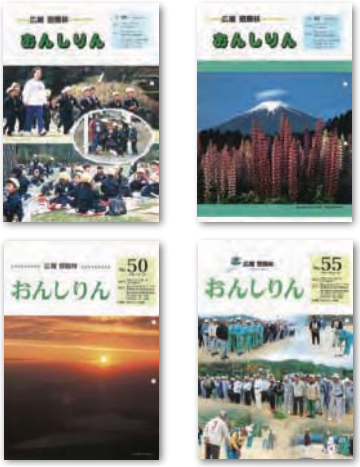
おんしりん

2013
No.100
広報 恩賜林

創刊号　昭和61年3月



45号　平成10年12月

70号　平成17年2月

恩賜林百年の森づくり
恩賜林百年の森づくり委員会開催

第3回定例会
平成24年度決算を認定

おんしりんイベント報告

トピック
「循環型木材資源の利用体系を目指して」

組合からお知らせ

広報「おんしりん」は、創刊号発行から27年目にして100号を迎えることができました。
今後も、組合の情報をみなさんにわかりやすく紹介していきます。

平成25年第3号
発　行　日　平成25年12月1日
発　行　元　富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合
富士吉田市上吉田5605番地3
TEL 0555-22-3355
FAX 0555-23-3425
ホームページ http://www.onshirin.jp/
メールアドレス kumiai@onshirin.jp

恩賜林百年の森づくり

御料地の御下賜から一世紀を経たことを機に、恩賜林組合では、森づくりが百年の計であることを認識し、環境・資源・文化とともに豊かな森林を育て、次世代に引き継ぐことを願い恩賜林百年の森づくり構想を作成します。

恩賜林組合の管理する富士山北面約8，100ヘクタールの森林は、林産物の供給、地球温暖化の防止、土砂災害の防止や水源のかん養、富士北麓自然環境の保全、入会住民の保健・レクリエーションなど森林の多面的な機能を発揮するとともに、生活、文化活動の場として地元入会住民に恩恵をもたらしてきた。

恩賜林組合では、地元入会住民の財産である富士北面の管理地を、先人が長年培ってきた入会の仕組みを活かしながら森林の多面的機能を100年後の子孫へと繋いでいくために、地元入会住民と共働による森づくりを目指していきます。

恩賜林百年の森づくり条例　基本理念

(1)森林の有する公益的機能が住民の生活の安全及び安心の基盤であることから、自然の仕組みを重視した長期的な展望に立ち、生物の多様性に配慮するとともに、立地条件等の特性に応じた適正な森林管理を実施することにより、公益的機能が高度に発揮される森づくりを推進すること。

(2)林業及び木材産業の健全な発展が人工林の適正な管理に寄与することから、林業及び木材産業を振興することにより、木材資源の循環利用が可能な森づくりを推進すること。

(3)入会の営み並びに歴史及び文化の継承を通じて、組合の構成市村などが行う地域づくりと一体となって森づくりを推進すること。

(4)継続的な森林管理を行うためには、多様な人材が必要なことから、森づくりの担い手を育成するとともに、住民との共働による森づくりを推進すること。

恩賜林百年の森づくり委員会開催

平成25年9月17日恩賜林百年の森づくり委員会が開催されました。

この委員会は、昨年制定された「恩賜林百年の森づくり条例」に基づいて設置されたもので、森づくり構想及び森づくり基本計画に関すること。

森づくりに関する基本的な事項に関すること。

組合長が必要と認めること。

について協議、調査及び評価を行います。

1回目である今回は委員の委嘱や、組合長から恩賜林百年の森づくり構想についての諮問などが行われました。

今後は、恩賜林百年の森づくり構想について審議を行い、組合長に答申する予定です。

第3回定例会開会

平成25年第3回定例会は9月19日から10月2日までの14日間で会期を終了しました。
本定例会において、上程された議案は、すべて原案のとおり認定・可決・同意されました。

◎議案第九号
平成二十四年度組合一般会計及び平成二十四年度組合林産物流通事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定）

一般会計の決算は、歳入二十五億七千六百二万四千九百七十九円、歳出二十五億六千百十八万二千七百五十五円、歳入歳出差引額は千四百八十四万二千二百二十四円です。

林産物流通事業特別会計の決算は、歳入歳出ともに五千七十三万千三百七十三円です。

◎議案第十号
財産の処分について（可決）

市道として公共の利益に供するため入会地を処分することについて、議会の議決を求めるものです。

◎議案第十一号
平成二十五年度組合一般会計補正予算（第二号）（可決）

既定の予算に歳入歳出それぞれ九十二万四千円を追加し、補正後の予算額を二十三億七百九十二万九千円とするものです。

◎議案第十二号
富士吉田市外二ケ村恩賜県有財産保護組合公告式条例の一部改正について（可決）

富士吉田市における住所表示の実施に伴い、条例の一部を改正するものです。

◎議案第十三号
富士吉田市外二ケ村恩賜県有財産保護組合助役の選任について（同意）

組合助役に天野初文氏を選任することについて、同意を求めるものです。

新助役の紹介

平成25年第3回定例会において、助役が新しく就任しましたので紹介します。

天野　初文
山中湖村

新議員の紹介

組合会議員の辞職に伴い、9月に新しく就任しましたので紹介します。

奥脇　和一
富士吉田市上吉田

平成24年度 各会計別決算の概要

◎一般会計

（単位：円）

歳　入		
科目（款）	予算現額	収入済額
1 使用料及び手数料	4,886,000	5,034,310
2 国庫支出金	11,108,000	11,308,000
3 県支出金	9,740,000	9,794,526
4 財産収入	523,106,000	524,431,923
5 繰入金	406,879,000	380,000,000
6 繰越金	363,000	363,040
7 森林整備交付金	1,000	0
8 諸収入	1,636,633,000	1,645,093,180
歳入合計	2,592,716,000	2,576,024,979

（単位：円）

歳　出		
科目（款）	予算現額	支出済額
1 議会費	58,101,000	57,547,327
2 総務費	500,095,000	488,528,925
3 事業費	2,024,519,000	2,015,106,503
4 公債費	1,000	0
5 予備費	10,000,000	0
歳出合計	2,592,716,000	2,561,182,755

◎特別会計

（単位：円）

歳　入		
科目（項）	予算現額	収入済額
1 営業収入	48,699,000	48,726,541
2 営業外収入	2,459,000	2,004,832
歳入合計	51,158,000	50,731,373

（単位：円）

歳　出		
科目（項）	予算現額	支出済額
1 営業費	50,957,000	50,731,373
2 営業外費	1,000	0
3 予備費	200,000	0
歳出合計	51,158,000	50,731,373

おんしりんイベント報告

Event Photo Sketch

8/11（日） 木のねんど教室

何を作ろうかな？

8/4（日） 溶岩観察会

なんで溶岩はザラザラするの？

8/3（土） 親子木工教室

お父さんの力も借りて、よいしょ、よいしょ。

みんな上手にできました。

8/25（日） 9/21（土） 9/22（日） 9/23（月） シイタケ収穫体験

たくさん採れて大満足

シイタケ見つかったかな？

8/25（日） おんしりんツリークライミング®体験会

みんな木の気分を味わえたかな？

9/29（日） 10/11（金） ナイトハイク

足元に注意して歩いてね

暗闇で片目だけ光を見たら、どう見えるんだろう？

9/23（月） 10/6（日） かまど体験

重たいかな？こうやって薪を運んでいたんだよ。

火起こしに挑戦！火を起こすのって難しいね

拾った薪でご飯を作り。出来上がりが待ち遠しいね

10/20（日） 10/22（火） 10/24（木） 10/27（日） ステンシル教室

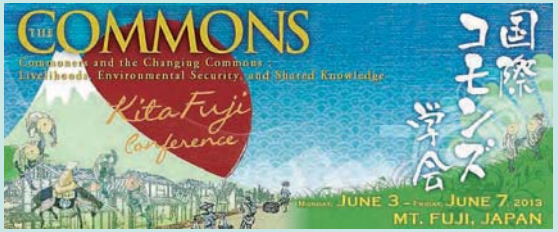
10/14（月） 手すきはがき講座

自分だけのはがきができたかな？

10/13（日） 森のおはなし会

お歌も踊りもしました

10/24（木） 国際コモンズ学会北富士大会 最終の組織委員会開催



今年6月、富士吉田市をはじめとする富士北麓地域において世界56ケ国407人の参加者を迎え開催された「国際コモンズ学会北富士大会」の最終の組織委員会が10月24日にハイランドリゾートホテル&スパで行われ、大会の報告及び決算について認定し、委員会は今回をもって解散することを決めました。

14回目を迎えた今大会は、コモンズの当事者（入会権者とその組織）が招致し、研究者と協働で主催するという今までにない試みがもたれたことから、開催までの過程そのものが研究対象となるなど、非常に注目された大会でありました。

大会の締めとなる今回の組織委員会は、委員に加え入会組合、寄附団体など大会に携わった多くの関係者が参加したなか開催され、地元一市二村の市村長ら組織委員が大会の総括・講評を行いました。研究者代表からは「式典や食事など、地元からのおもてなしが参加者の心に十分伝わり、過去最高の大会であった。研究者がその枠にとどまることなく、入会の当事者の参加を得て、共に考え、共に手を取り合いながら解決を見出していくというまさにコモンズの根本的思想を実現し、さらに、日本の入会を、当地であるこの北富士地域から世界に発信したという学術的成果は計り知れない。今大会の成功がさきがけとなり、今後の学会運営の基礎として発展していくことを確信している」と高い評価を得ました。

また、組織委員会後には「大会終了記念講演会」として、大会開催の3つの目論見であった

①学会としての学術的な成果

②北富士入会の発信交流

③富士北麓に国際交流産業を萌芽

について、成果と未来に向けた展望をそれぞれの専門家が講演しました。

国際コモンズ学会 北富士大会終了記念講演会

－大会の振り返りと未来に向けて－

①学会としての学術的な成果

秋道 智彌（あきみち ともや）
大会共同議長・
総合地球環境学研究所
名誉教授

「ノーベル賞受賞者である故オストロム教授が強く希望していたコモナー（入会の当事者）との連携による大会開催を初めて実現できた意義と経験が、今後の研究に及ぼす影響は大きい。」

②北富士入会の発信交流

楠澤 能生（くるみさわ よしき）
早稲田大学教授・
早稲田大学比較法研究所
所長

「厳密なルールによって持続可能な社会が維持管理されている北富士入会のシステムは、海外の研究者から非常に注目され、また、ともに考えることができたことは大きな成果」

③富士北麓に国際交流産業を萌芽

蛯川 彰（にながわ あきら）
日本政府観光局（JNTO）
コンベンション誘致部長

「今大会の経済波及効果が全体で3億円以上の効果があったと試算しているが、国際会議誘致は地方にとっても魅力的なコンテンツとなり得る。」

10/12・13（土）（日） 第14回恩賜林杯ミニバスケットボール大会

［会場］
富士北麓公園体育館
山中小学校体育館

14回目の恩賜林杯ミニバスケットボール大会は、富士北麓地区の男女合わせて22チームが参加しました。レベルの高い接戦の結果、男子の部は、小立United、女子の部は、下一ミニバスケットボールクラブが優勝しました。

選手のみなさんの健闘を称えます。

男子の部　優勝　小立United

女子の部　優勝　下一ミニバスケットボールクラブ

8/7（水） 第5回恩賜林杯囲碁大会

みなさん日ごろの鍛錬の成果を十分に発揮すべく、大会に臨みました。中には歓声が沸き起こる、白熱した対局もあり、盛会の内に終了しました。

対局結果

●Aパート
優　勝：岩村 享育さん
準優勝：桝澤 敬さん
3　位：渡辺 眞治さん

●Bパート
優　勝：森屋 光正さん
準優勝：渡辺 新作さん
3　位：横地 潤治さん

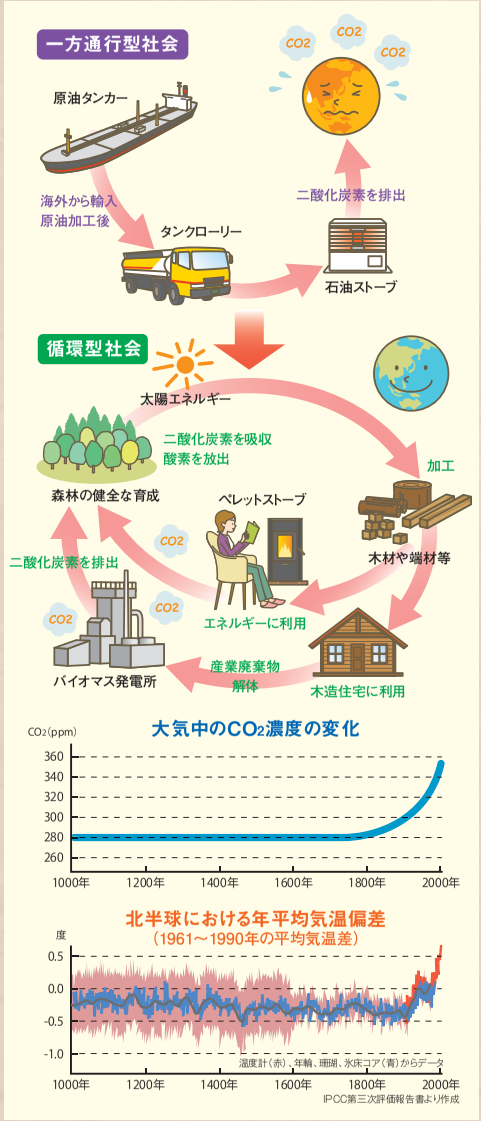
TOPIC

循環型木材資源の利用体系を目指して

澄んだ空気、雄々しく茂る森林、清らかな水…富士北麓の地に息づくこの豊かな自然は、私たちが先人から受け継いだ素晴らしい財産。その恵みを享受するとともに、未来へとつないでいくために、植林をしたり、間伐や除伐をして木々を育てたり、ときには、ルールを守らない人々を取り締まったりして、長きにわたり大切に守ってきました。

しかし、地球規模での環境破壊が進み、その結果、温暖化など深厚な問題が生じている今、富士北麓においても、従来の行いだけで自然環境を保全することは難しくなってしまいました。もっと根本的な対策をしないと、この美しい自然も、私たちの暮らしも、さらには地球も、近い将来破たんしてしまうかもしれません。

そうならないために、今どうすればいいのか。この森を未来へとつなげるために、私たちに何ができるのか。ぜひ一緒に考えてみましょう。



森林の資源

森林の資源には木材資源、生態系の保全や癒しの効果をもたらす環境資源、森林からもたらされる水資源、景勝地の保全や観光資源となる文化・観光資源、きのこや山菜などの里山資源などがあります。これらの資源は先人が山に木を植え下草刈りや間伐など適切に管理してきたため現在に引き継がれてきたものです。

これらの森林資源は、繰り返し使用することができる再生可能資源であり、環境や人にやさしい天然資源であるため、無駄になるところがありません。森林資源を積極的に活用することは、森林を整備・保全することにつながり、結果として土砂災害の防止や、二酸化炭素排出量の削減、水源のかん養、生物多様性の保全など、森林の多面的機能の発揮にも繋がっていきます。

現在の経済社会の中で、森林資源などを利用した環境と調和した循環型社会の構築を図ることが課題となっており今後加工時の環境負荷が極めて少なく、再生可能な生物資源である森林資源の利用は、ますます重要になってきています。

日本におけるエネルギーの現状

東日本大震災は、日本のエネルギー安定供給の脆弱性を明らかにし、国内においてはエネルギー政策の見直しが喫緊の課題となっており、今までの、原子力や化石燃料に依存したエネルギー社会から、環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会への転換へと意識が変わってきています。

高度経済成長期にエネルギー需要量が大きくなる中で、1960年には58％であったエネルギー自給率は、それ以降大幅に低下していき、2010年のエネルギー自給率は水力・地熱・太陽光・バイオマス等による4・4％にすぎません。

エネルギー自給率の低下は、現在日本のエネルギー政策の重要な課題となっており、エネルギー構成や供給源の多様化が求められています。

国においても平成24年「再生エネルギーの固定価格買取制度」が開始され、電気業者に対して太陽光、風力、中小水力、地熱、バイオマスを用いて発電された電気を一定の期間・価格で買い取ることを義務付けています。

木質バイオマス

このような中、森林の適切な管理により再生産でき、エネルギー源として持続的に活用できる木質バイオマスエネルギーの利用が注目されてきています。

「木質バイオマス」は「森林」を原料とした資源のことです。森林は大気中のCO_2だけを吸収し、余剰となった酸素を大気中に放出してくれるとてもありがたい存在です。森林の活用が広がり、森林面積が広がれば、より多くの二酸化炭素が吸収されるようになると期待されます。

国は、平成23年7月に策定された「森林・林業基本計画」の中で、平成32年における木材資源を利用した燃料用等のパルプ・チップ用材の利用目標を600万㎥と見込んでいます。その上で、木質バイオマスのエネルギー利用に向けて、石炭火力発電所や木質バイオマス発電所における未利用間伐材の利用、地域における熱電供給システムの構築、効率的な発電・熱供給システムの開発等を推進していくこととしています。

恩賜林組合管理地内木材資源について

富士山北面約8，100ヘクタールの森林を管理している恩賜林組合の造林事業から発生する木材資源は年間約5，000トンと推定されます。これは灯油260万リットル分のエネルギー量に相当します。

恩賜林組合では、この木材資源の有効活用による環境と共生した循環型社会づくりを目指し、木質バイオマス生産事業を計画しています。

木質バイオマスエネルギーの種類について

木質バイオマスエネルギーの種類としては、昔から使われてきた薪や木炭のほかに、木材を小片に切削・破砕した「木材チップ」や、おが粉等を圧縮形成した「木質ペレット」があります。

木質ペレットは着火、温度調整等操作性に優れているため、断続運転を行う施設や、常に一定温度に保つ必要がある温室や温泉施設のボイラー、また一般家庭用のストーブなどに向いています。

近年ペレットストーブは、木質ペレットの普及にともない機能も操作性も大きく改良されています。

燃料効率も85～90％まで達成され、不完全燃焼のときに排出する一酸化炭素は限りなくゼロに近くなっています。

デザインも豊富で、暖炉風の大型のものからリビングに最適なシックなデザインのものまで、カラー、サイズともに多種多様なものが販売されています。

富士吉田市・山中湖村・忍野村の家庭約25，000世帯が灯油ストーブをペレットストーブに変えれば富士北麓地域で年間20，000トンの二酸化炭素が削減されることが見込まれます。（年間灯油使用量320リットル換算）

木質バイオマスエネルギーの利用について

富士北麓の森林資源を木質バイオマスエネルギーとして利用することは、地球温暖化の防止、日本国内おけるエネルギー自給率の改善に貢献することはもちろん森林資源を循環利用することにより、資源の収集や運搬、バイオマスエネルギー供給施設や利用施設の管理・運営など、新しい産業と雇用が創られ、富士北麓地域の活性化にも貢献することができます。

恩賜林組合では、祖先から受け継いだ森林資源を管理・運営し、生み出された価値を入会住民に還元しながら未来へ引き渡していくため、21世紀の知見・技術を用いて森林の価値を総合的に見直し、森林資源の循環利用が可能な事業展開を検討していきます。

【取材協力】
山梨県森林総合研究所　小澤雅之　農学博士

組合からお知らせ

申し込み・問い合わせ
●恩賜林組合 ☎22-3355

自然体験会 ～冬の森をたのしもう！～

冬の森でゲームをしながら、自然を
楽しんでみませんか？

日　時●平成26年1月12日（日）
　　10：00～12：00
場　所●恩賜林庭園
対　象●どなたでも
定　員●10名
参加料●無料
担　当●森林文化課

しめなわ教室

ワラを使って正月飾りのしめ縄を作りませんか。

日　時●平成25年12月15日(日)
　　10:00～12:00
　　13:00～15:00
場　所●恩賜林組合
　　林業センター1階会議室
対　象●大人
定　員●各回とも10名
参加料●無料
担　当●森林文化課

林業センター研修施設のご利用案内

組合には、各種研修施設が整っており、利用することができます。
目的に応じて部屋の広さを変えるなどの対応も可能です。
使用料等の詳しい内容につきましては、お問い合わせください。
※休業日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12/29～1/3）

【研修施設】
研修室1・2・3／会議室／会議室兼視聴覚室／調理実習室
担　当●財産管理課

研修室

会議室兼視聴覚室

調理実習室

山火事予防について

冬季に入り、季節風が強く空気が乾燥して火災が発生しやすい時期になりました。入会住民の皆様は、入山する際には山火事防止にご協力をお願いします。山火事の原因のほとんどが、人の火の取扱いの不注意で発生しています。

- ●枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ●強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ●火入れを行う際、許可を必ず受けること
- ●たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ●火遊びはしないこと

**貴重な森林を山火事から守るため、
皆様のご協力をお願いします。**

謝謝来園

おんしりんの
お庭が
だーいすき

山中湖村山中
高村梨呂（たかむら りろ）ちゃん（5歳）

富士吉田市新倉
渡辺葉月（わたなべ はづき）ちゃん（2歳）

無料法律相談

組合では、一市二村入会住民の方を対象に、顧問弁護士による無料法律相談日を設けています。
法律問題でお困りの方は、この機会にご相談ください。

次回相談日
平成26年1月14日（火）　受付時間／13:00～14:00
【担当】演習地対策課

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C023103
この印刷物は環境にやさしいVOC（揮発性有機化合物）成分フリーの植物油型インキを使用して印刷しました。
この印刷物は色覚障害の方に配慮し制作しています。

平成25年第3号　発行日／平成25年12月1日　発行元／富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合
富士吉田市上吉田5605番地3／TEL 0555-22-3355／FAX 0555-23-3425　ホームページ http://www.onshirin.jp/　メールアドレス kumiai@onshirin.jp